

～ 外飼いの危険性 ～

交通事故 車と衝突する、車の間に入り込む等して、事故に遭ってしまいます。
枚方市内でも、年間1000匹近くの猫が交通事故で命を落としています。

むやみな繁殖 外で生まれた子猫のほとんどは、カラス等野生動物に襲われたり、ノラ猫として過酷な環境で暮らしていくことになります。

縄張り争い ノラ猫や他の外飼いの猫とけんかをしてけがをしたり、縄張りから追い出されて迷子になる可能性があります。

ノミ・ダニ かゆみが大きなストレスとなったり、アレルギーによる皮膚炎を引き起こしたりします。
ノミ・ダニが人に移動し、かゆみや炎症を起こすこともあります。

**猫エイズ
猫白血病** 猫同士の接触により感染します。屋外にいる猫は、常に感染症のリスクにさらされているのです。

猫を守るために ～ 室内飼いのすすめ ～

猫に快適な環境を整えれば、室内で幸せに暮らせます。以下の点に留意しましょう。

◎食事・トイレ・遊び・休憩等の場所を用意する。

猫はきれいなトイレを好むので、毎日きれいに掃除する。上下運動のできる場所を作ればストレス解消にもなる。高いところや狭いところに安心できる隠れ場所を作る。

◎不妊・去勢手術を行う。

病気の予防やストレスの軽減になり、繁殖のための脱走の予防にもなる。もし不妊手術を受けていない室内飼いの猫が屋外に脱走し、子猫を産んだらその子はノラ猫になってしまう。

◎迷子札を装着する。

突然の災害や脱走に備えて、日頃から連絡先を書いた迷子札やマイクロチップ等を装着する。窓やドアの開閉時や動物病院への移動中に迷子になるケースもあるので、日頃から備えておく。

！ 屋外に出た猫は、飼い主が知らないうちに様々な迷惑をかけている場合があります。猫を室内で飼うことは、猫による人同士のトラブルを防止することにもつながります。！